

T512 度付ゴーグル



T512は、近視スイマーが手軽に使える度付ゴーグルです。

特徴

- 競泳用に開発した水膜くもり止め加工を施してありますので、よりクリアな視界で快適なスイミングが楽しみいただけます。
- レンズの素材には、プラスチックの中で最も耐衝撃性の高いポリカーボネートを採用しています。
- レンズの光学的特性は、JIS S-7301の規格値、屈折力 $0 \pm 0.125\text{m}^{-1}$ 、平行度 $1/6\text{cm/m}$ 以内に品質管理されています。
- レンズは、紫外線(UV:380nm以下)から目を保護します。
- ストラップは、飛び込み時や競泳中にずれにくいよう、中央部がダブルに設計されています。

※T512は、医療用具として承認されています。

第1版

- ⚠ 警告 (それを守っていただかないと、ケガや事故につながる危険性のある事項)**
必ずこの取扱説明書をよく読み、取扱方法と警告及び注意事項を完全に理解してからご使用下さい。
- 他人に当製品を貸し出す場合には、必ずこの取扱説明書を添付して下さい。
 - 当製品は水泳専用のゴーグルです。水泳以外の目的では絶対に使用しないで下さい。
 - 使用前には常に各部を点検して下さい。レンズに視界を妨げるようなキズや、ストラップやフェイスパッド部分に亀裂やキズがある場合には使用しないで下さい。
 - ストラップの伸縮力によってレンズが顔に強く当たるとケガをする可能性がありますので、着脱の際には十分ご注意ください。
 - スイミングゴーグルは衝撃によるケガ等から目を保護するための製品ではありません。水中に飛び込むことはもちろん、水泳中は常に周囲の安全を十分に確認して下さい。また、危険ですので、海岸や川岸、岩場等で飛び込むことは絶対におやめ下さい。

- ⚠ 注意 (それを守っていただかないと、間接的にケガや事故につながる可能性のある事項)**
- 使用前には、必要に応じてストラップと鼻ベルトの長さを調節して下さい。調整が不十分な場合は水漏れが起こることがあります。
 - 目が水圧の影響で痛くなりますので、ダイビングのように深く潜らないで下さい。
 - 長時間使用中、こくまれにフェイスパッドの密着によって肌に異常が生じることがあります。その場合はただちに使用を中止して下さい。万一、アレルギー症状が出た場合は専門医の診断を受けて下さい。

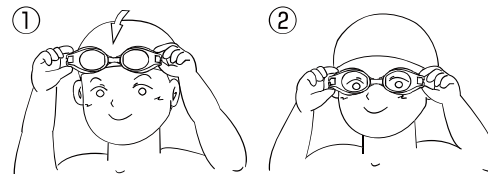
取扱上の注意

- 水膜くもり止め加工は、水分がレンズ面にいきわたることでもり止め効果があらわれます。使用前に水道水でレンズ内側をよく水で濡らしてからご使用下さい。
- レンズ内側にはくもり止め加工が施されていますので、使用中、水泳中は直接指で触れないようにして下さい。
- ファンデーションやUVカットクリーム(サンスクリーン)等の中にはフェイスパッドやレンズに付着すると、落ちなくなるものがありますので十分ご注意ください。また、砂等が付着した場合はこすり取らず、必ずすすぎ洗いをして下さい。
- くもり止め液は、必ず当社製品を使用して下さい。市販のくもり止め液の中には、プラスチック素材を侵してひび割れ等を起こさせるものがありますので、ご注意ください。

使用後、保管上の注意

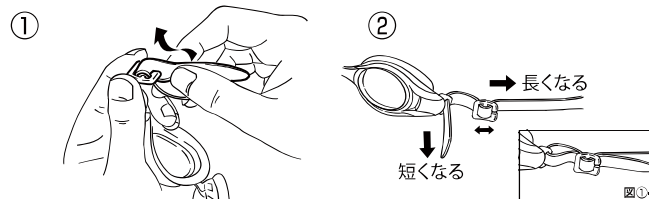
- レンズの内側に水アカや手の脂分等の汚れが付着するとくもりの原因となります。使用後は必ず真水でよくすすぎ洗いを行い、水分を振り切って陰干しをして下さい。汚れが気になる場合は、市販の中性洗剤をメーカー指定の希釈率(洗剤の裏面の説明に表示)にうすめて入れた水で洗い、その後洗剤成分を完全に洗い落として下さい。強い洗剤をそのまま用いたり、つけ置き洗いをしたり、洗剤の成分が少しでも残っていると、洗剤の種類によってはプラスチック素材を侵してひび割れ等を起こさせるものがあります。
- 変形や変色の原因となりますので、シンナーやアルコール等の有機系溶剤を汚れ落としに使用しないで下さい。
- 水着、スイミングキャップ、タオルやその他の色物と長時間接触した状態で保管すると、まれに相互の色が移行する場合があります。特に濡れた状態では起こりやすくなりますので、使用後はケースやビニール袋等に入れて持ち運びして下さい。また、水に濡れたまま長時間放置しておくと、くもり止め効果が落ちたり、カビが発生したりするので必ず陰干しを十分にしてから保管して下さい。
- 夏場の直射日光下や、車のトランクの中、暖房器のそば、サウナ室等、極端に高温になる場所で乾燥させたり、放置したりすると、変形や性能劣化の原因となりますのでご注意ください。

正しいゴーグルの着脱法



- ① ストラップを両手で広げ後頭部から確実にかぶせてください。この時、レンズは顔に乗った状態になります。続いて左右のレンズを両手で持ちながら、やさしく目にかぶせるように装着してください。
- ② ゴーグルを取る際は、レンズを両手で持ち上げ、ゆっくりと外してください。

ストラップの調整

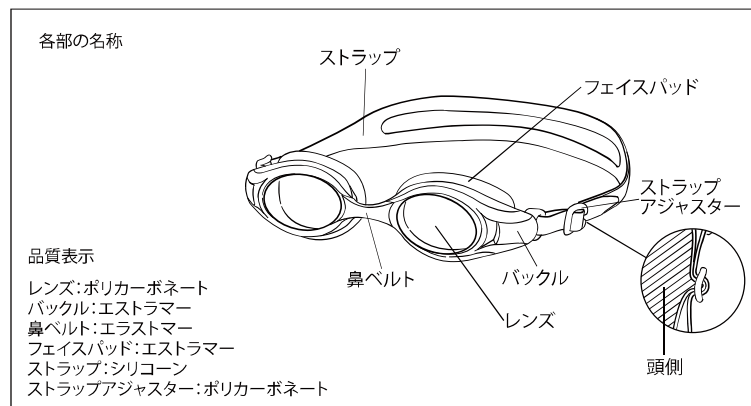


- ① ストラップの上側の1枚をねじって引っ張り、図のようにフックから外し、ストラップアジャスターの穴から抜きます。※ストラップが切れることがありますので、外す時は爪をたてないように注意して下さい。
- ② 図のようにストラップの先端を引っ張り、長さを調整します。その後、ストラップアジャスターを適当な位置にずらし、①と逆の手順でセットします。(図①-A)

鼻ベルトの調整



鼻ベルトは大、中、小、3サイズあります。お好みの長さの鼻ベルトをお選び下さい。(標準で中サイズの鼻ベルトがセットされます)
鼻ベルトは、①の矢印の方向に傾けながら引っ張ると外れます。また、同様に傾けながら、突起部分がしっかりとレンズサイドの穴に入るようにはめ込みます。



お客様へ

製品には万全を期しておりますが、万一お買上の製品に不備がございましたら、お手数ですがこの取扱説明書にお買上の日付を必ずお書き添えの上、販売店までお持ち下さい。代品とお取り替えさせていただきます。尚、それ以外の責(経年変化による消耗、ご使用者の過失による故障等)についての補償、代償につきましてはご容赦下さい。

お買上日/ 年 月 日